

クォーターリー パフォーマンス レポート ～四半期運用報告(2019年1月～3月)

1 - 3月の運用概況

① 市況概況 (1-3月:日興グローバルラップ株式会社 作成)

主要株式市場と債券市場は、ともに堅調に推移しました。為替市場では、円は対米ドルでは下落、対ユーロでは上昇しました。
【日本市場】日本株式市場は、米国および欧州の金融当局が従来の金融引き締め姿勢を棚上げする方針を示したことを受け、上昇傾向で推移しましたが、3月に入ると、英国のEU(欧州連合)離脱を巡る動きや、トルコなど一部の新興国市場における信用不安に対する警戒感が強まったことから、不安定な相場展開となりました。一方、債券市場では、世界経済の減速観測が強まるなか、米欧金融当局が慎重な政策姿勢に転じたこと、さらに、米中通商摩擦や英国のEU離脱に対する警戒感が強まったことなどを背景に、四半期を通して安全資産としての債券を買う動きが継続し、10年物国債利回りは2月以降、ほぼ連日マイナス圏で推移する展開となりました。

【海外市場】海外株式市場は、米国金融当局による利上げ休止観測や、資産縮小政策の年内終了観測が好感されたことに加え、欧州金融当局による利上げ開始時期の先延ばしに対する期待が高まったことも買い材料視され、大幅な反発を示しました。一方、債券市場は、世界経済の今後の減速観測が強まるなか、米国や欧州の金融当局が緩和的な政策へ向かう可能性が意識されたことや、英国をはじめ欧州各国における政局不安が強まったこと、さらに3月には、米国において長短金利が一時逆転し、景気の前向きに対する警戒感が一段と強まったことなどを背景に、総じて堅調な相場展開となりました。

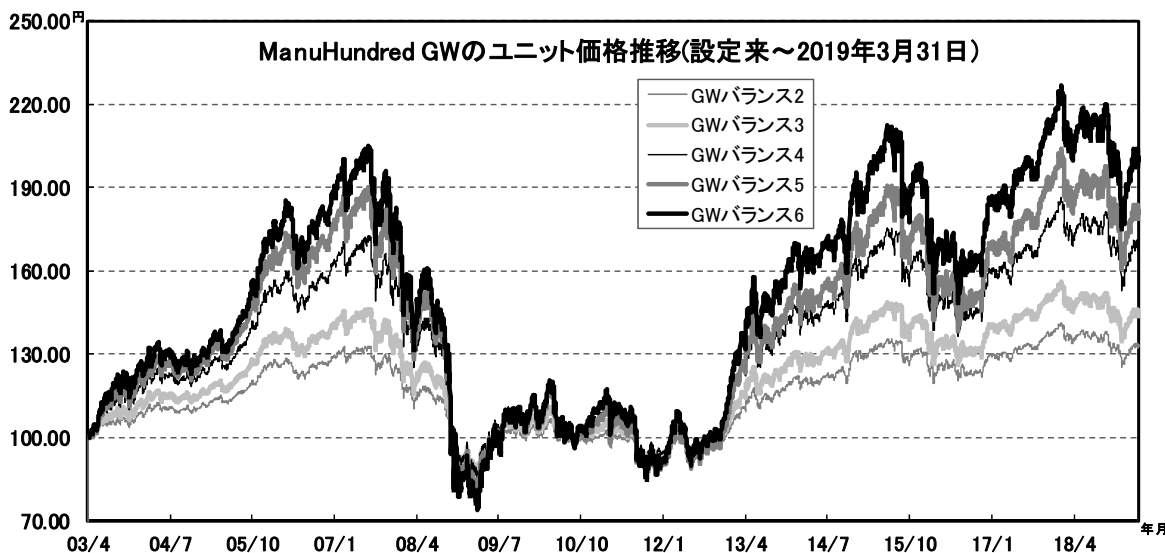
【為替市場】前期末に1米ドル=109円台にあった円の対米ドル相場は、米国景気の減速観測から1月初めに円高方向に進んだ後、米国株式を中心とした世界株高を背景に112円近辺まで円安が進行しましたが、3月には日米金利差が縮小した影響からやや円高方向に振れ、期末を110円台で迎えました。一方、前期末に1ユーロ=125円台にあった円の対ユーロ相場は、1月月初に円高が進んだ後、ユーロを買い戻す動きが続き、3月初めには127円台をつけましたが、その後は英国のEU離脱に向けた動きや日欧金利差の縮小などをにらみながらやや円高に向かい、124円台で期末を迎えました。

② 特別勘定のユニット価格騰落率一覧 (2019年3月31日現在)

下記の表には、特別勘定名と、それぞれの期間におけるユニット価格の騰落率が、運用レポート掲載順に表記されております。運用方針等の詳細は、それぞれの該当運用レポートにてご確認ください。

| 特別勘定名 | ユニット価格 19/3/31現在 | 騰落率 | | | | | 設定来 | 設定日 |
|-----------|---------------------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|-----------|
| | | 直近1ヶ月 | 直近3ヶ月 | 直近6ヶ月 | 1年 | 3年 | | |
| GW バランス 2 | 133.4255 | 0.31% | 4.64% | -3.29% | -1.38% | 5.42% | 33.43% | 2003/4/3 |
| GW バランス 3 | 145.3321 | 0.26% | 5.60% | -4.36% | -1.43% | 7.46% | 45.33% | 2003/4/9 |
| GW バランス 4 | 169.4715 | 0.19% | 7.42% | -6.45% | -1.76% | 12.11% | 69.47% | 2003/4/8 |
| GW バランス 5 | 181.5477 | 0.09% | 8.81% | -8.03% | -2.13% | 15.29% | 81.55% | 2003/4/10 |
| GW バランス 6 | 200.8433 | 0.03% | 10.44% | -8.64% | -2.06% | 17.54% | 100.84% | 2003/4/10 |

*上表の騰落率は、それぞれの月数をさかのぼった該当月の月末日付ユニット価格に対して、当月末日付のユニット価格がどれくらい変動したかを計算したものです。
*ユニット価格は小数点第5位以下を切捨て、騰落率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。



- 当資料は、変額個人年金保険(年金原資保証Ⅱ型)「ManuHundredGW」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の勧誘を目的としたものではありません。
- 各特別勘定の主たる投資対象となる投資信託は、株式・公社債など値動きのある有価証券や外貨建資産等に投資しますので、価格や為替の変動に伴い、その運用結果が積立金額に運用実績として反映されます。特別勘定の運用に伴う投資リスク・為替リスクはすべてご契約者に帰属します。
- 各特別勘定のユニット価格とその投資対象である投資信託の基準価額の推移は、必ずしも一致するものではありません。また、「主たる投資対象となる投資信託の運用レポート」には、日興アセットマネジメント株式会社より提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニライフ生命は一切の責任を負いません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成されておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではなく、運用実績に関する内容はすべて過去の実績であり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらわすものではありません。また、予告なしにこの資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
- 契約者が特別勘定資産の運用方法について指図を行うことはできません。
- 「ManuHundredGW」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約のしおり/約款/特別勘定のしおり」等をご確認ください。

GW バランス 4 <主たる投資対象となる投資信託名>グローバル・ラップ・バランス 積極成長型

特別勘定の運用方針

当特別勘定は、主に投資信託「グローバル・ラップ・バランス積極成長型」に投資します。

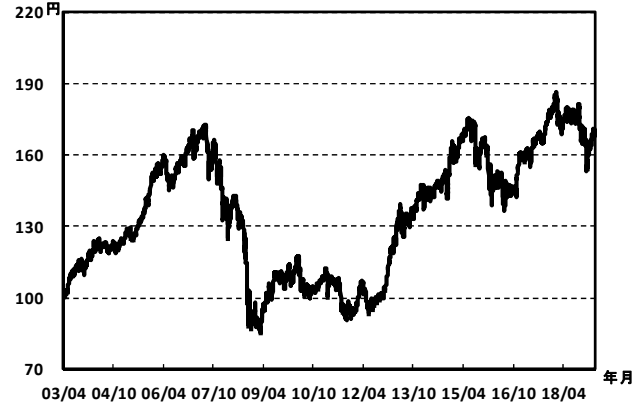
特別勘定の資産構成比

ユニット価格推移

| 資産等の種類 | 構成比 | ユニット価格 |
|--------|--------|---------------------|
| 投資信託 | 97.7% | 2019年1月31日 163.3910 |
| 現預金 | 2.3% | 2019年2月28日 169.1431 |
| 合計 | 100.0% | 2019年3月31日 169.4715 |

*資産構成比：四半期平均、小数点第2位以下四捨五入にて表示しています。

(設定日 2003年4月8日、設定時：100円)
*ユニット価格：特別勘定の1ユニット（1口）あたりの価格のこをいいます。単位は円で、小数点第5位以下を切捨てて表示しています。



《主たる投資対象となる投資信託の運用レポート》

(2019年3月29日現在)

◆投資信託の運用会社

設定・運用：日興アセットマネジメント株式会社
運用助言：日興グローバルラップ株式会社

◆投資信託名

グローバル・ラップ・バランス積極成長型

◆投資信託の運用方針

日本を含む世界の株式・債券に分散投資。株式比率をやや高めて長期的な元本の成長を目指す一方、債券からの安定した利息収入の確保も図ります。

◆基準価額と純資産総額

(2019年3月29日現在)

| | |
|-------|----------|
| 基準価額 | 23,743円 |
| 純資産総額 | 228.32億円 |

◆基準価額の推移グラフ

基準価額は設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

| | 基本アセットミックス | ファンド |
|----------|------------|---------|
| 日本大型株式 | 21.00 % | 21.92 % |
| 日本小型株式 | 8.00 % | 7.35 % |
| 日本債券 | 21.00 % | 16.56 % |
| 北米株式 | 20.00 % | 22.40 % |
| 欧州先進国株式 | 14.00 % | 16.53 % |
| アジア太平洋株式 | 4.00 % | 4.73 % |
| 海外債券 | 12.00 % | 9.53 % |
| 短期資産その他 | 0.00 % | 0.97 % |

◆投資信託の主な投資対象

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド、日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド、日本債券グローバル・ラップマザーファンド、北米株式グローバル・ラップマザーファンド、欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド、アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド、海外債券グローバル・ラップマザーファンド



変額個人年金保険（年金原資保証Ⅱ型）「マニユハンドレッドGW」は、特別勘定の運用実績に基づいて、将来の年金額、解約返戻金額および死亡給付金額等が変動する生命保険商品です。

ご注意事項

⚠ 運用のリスクについて

変額個人年金保険（年金原資保証Ⅱ型）「マニユハンドレッドGW」は、特別勘定での運用期間中、主に投資信託を通じて、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が積立金額・将来の年金額等の増減につながります。このため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、積立金額および解約返戻金額（一部解約した場合、解約返戻金額と年金額等のお受け取りになる金額の合計額）が払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。その有価証券の価格や為替の変動等に伴うリスクは、ご契約者に帰属します。

⚠ 本商品にかかる費用について

【特別勘定での運用期間中にご負担いただく費用】

一時払保険料は契約日より契約日を含めて8日目末に、特別勘定に繰り入れます。

特別勘定での運用期間中は、毎日、次の費用（各年率に1/365を乗じた金額）を各特別勘定の積立金から控除します。

| 特別勘定名 | GWバランス2 | GWバランス3 | GWバランス4 | GWバランス5 | GWバランス6 |
|-------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 保険関係費 | 特別勘定の資産総額に対し | | | | |
| | 年率 2.22% | 年率 2.25% | 年率 2.32% | 年率 2.35% | 年率 2.36% |
| 運用関係費 | 特別勘定の投資対象となる投資信託の信託財産に対し（信託報酬*） | | | | |
| | 年率 1.2096% （税抜：年率 1.12%） | 年率 1.3392% （税抜：年率 1.24%） | 年率 1.4904% （税抜：年率 1.38%） | 年率 1.6632% （税抜：年率 1.54%） | 年率 1.7604% （税抜：年率 1.63%） |

*運用関係費には、特別勘定の投資対象となる投資信託の信託報酬などが含まれます。信託報酬以外の費用（信託事務の処理に要する費用、立替金の利息ならびに信託財産の財務諸表の監査に要する費用等）については、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

【特定のご契約者にご負担いただく費用】

スイッチング手数料（年間12回を超えて行った場合）・・・

年間12回を超えるスイッチングに対しては、スイッチング手数料として1回の移転につき2,500円を移転元の積立金から控除します。

※年間とは、契約日または契約応当日から起算して1年間（1保険年度）にあたります。

【年金（遺族年金）受取期間中にご負担いただく費用】

年金管理費・・・年金額の1%を毎年の年金支払日に責任準備金から控除します。

【解約・一部解約の際にご負担いただく費用】

解約控除・・・解約計算基準日が契約日から7年以内の場合、契約日からの経過年数に応じて解約控除がかかります。

解約控除額＝基本保険金額（解約に相当する部分）×解約控除率

◆ 解約控除率

| 契約日からの経過年数 | 1年以内* | 1年超 2年以内 | 2年超 3年以内 | 3年超 4年以内 | 4年超 5年以内 | 5年超 6年以内 | 6年超 7年以内 |
|------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 解約控除率 | 7% | 6% | 5% | 4% | 3% | 2% | 1% |

*1年以内とは、特別勘定繰入日以降、契約日から1年後の契約応当日の前日までのことです。

※解約計算基準日が特別勘定への繰入前である場合、一時払保険料と同額の解約返戻金をお支払いいたします。（一部解約がなかった場合）

⚠ 特にご注意ください事項

マニユハンドレッドGWは、年金受取を条件に、

●運用期間が10年以上20年未満の場合は基本保険金額の80%

●運用期間が20年以上の場合は基本保険金額の100%

を、年金原資として最低保証します。年金原資の最低保証はマニユライフ生命が行います。ただし、次の場合は、運用期間にかかわらず、年金原資の最低保証はありませんので、一時払保険料を下回る可能性があります。

①年金受取開始後に、年金を一括で受け取る場合 ②即時の年金受取を選択した場合

③定額の年金保険に変更した場合 ④契約を解約した場合

募集代理店

SMBC日興証券株式会社

引受保険会社

マニユライフ生命保険株式会社

本社／東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

東京オペラシティタワー30階

〒163-1430

変額年金カスタマーセンター／0120-925-008

ホームページ／www.manulife.co.jp